

## 京都大学理学部地球物理学教室平成 20 年度総会

岩崎副会長の司会で総会を開始し議事を進めた。最初に会長が、同窓会が把握している平成 19 年に亡くなられた 5 名の方、

飯 博行 様 S41/M:S41

杉浦正久 様 元教官

高須謙一 様 元講師

中西 英 様 S29

濱口泰輝 (旧姓：三代) 様 S16(3 月)

に全員で黙祷を捧げてご冥福を祈った。なお、昨年 11 月の幹事会では教室の古い先生方のことを調べようとの意見が出されたことについて田中会長はまだ着手していないと述べた。

続いて、荒木 徹名誉教授から、杉浦正久先生のご経歴と思い出を話していただいた。その内容は「故杉浦正久先生 (1927 年 12 月 8 日---2007 年 8 月 13 日)」の通りである。

議事に入り、まず岩崎副会長から以下の「事業報告」がなされた。

現状をふりかえると、総数は 1535 名であるが鬼籍に入られた方が分からないので実数は 1400 人くらいではないか、住所が分からず連絡できない方が多いので、会員の情報をできるだけ把握して名簿に記録することが大切である。住所情報は 1982 年以降が抜けている。eメールは約 4 割が把握できている。基本的に連絡は eメールで自宅と勤務先に送っている。昨年までは岩崎が名簿の印刷まで行っていたが、今年からは福田先生の全面的協力が得られた。未達メールについては郵便で再送している。100%完全となっていない。総会については、18 年が 47 名、19 年は 42 名、今年の参加者はやや増加した。名簿には未だ多くの間違いがあるがお許しいただきたい。

続いて「会計報告」が福田先生からなされた。

会計資料は 2007 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの分で、前年の町田先生から受け継いだ時からそれほど変わっていない。会員は新規が 12 名とあとは懇親会費、それに名簿の送付である。支出は 100 周年記念ホールの使用料、同窓会通知の郵送料、記念品代であり、支出は 408,065 円と微小な動きである。金額は正しいが、日付が間違っている。訂正してほしい。

最後に「会計監査報告」が田中 (良) 監査から、間違いなく処理されていること、ただし懇親会費 45 名分に対して出席記録が 41 名となっていると承認報告がなされた。

以上の報告について一括承認された。

続いて議事に入り最初に岩崎副会長から、役員として総務を増やしたいとの必要説明がなされた。住所が不明の会員が多く、これを解消していくためには総務系の役員を増やすことが必要であると前会長山元先生から言われている。1400 名ほどの会員の中で約 400 名しか連絡がとれない。会費納入会員は 170 名である。この穴を埋めるために是非役員を 1

名増やしてほしい。まず規約を改正し、議決をお願いしたい。なお、この件は昨年 11 月の拡大幹事会で承認を得ている、と説明された。意見交換の後、

規約第 4 章 第 8 条（会長、副会長、幹事、会計、総務、監査）本会は次の役員を置く

会計 1 名

総務 1 名

監査 1 名

第 9 条（役員の選任）前条の役員は、次の手続きを経て選任される。

副会長、会計、総務、監査は、

第 10 条（役員の職務）役員の職務は次の通りとする。

幹事は、会長、副会長を助けて会務を処理する。

会計は、本会の会計を処理する。

総務は、会長、副会長を助けて会務を総括する。

監査は、本会の会計を監査し、監査承認を与える。

の下線部分を追加して、規約改正が議決された。続いて総務には現職の教員が望ましいとの意見が述べられ、諏訪 浩幹事が総務に選任された。これに対して諏訪幹事から「これまでの仕事は総会のと時の講演依頼などであって、名簿のことは具体的に聞いていないのでたじろいでいる、本当は教室の方が良いと思うが、やはり、若い方々に顔を出してもらって皆でやって行くことを考えなければならない。皆様からご支持があるなら慣れないがやらせていただく」と受諾の挨拶があった。

最後に、会長田中が 2 つのお願いを伝えた。

本会に分かりやすい略称を是非付けていただきたい。（これに関連して副会長から、幹事は会員どなたでも連絡いただいて幹事になり、会を盛り上げていただきたいとの当初からの方針がコメントされた）

若い会員に向けて同窓会の存在と活動を発信することが必要である。このためには若い人を集めて講演等をやってもらうのもよかろう。また寄付を集めて、奨学金や研究費の一部として使ってもらうのも良かろう。ただし指定寄付にするほうが良いと思われるので「京大基金」に応募することも考えてはどうだろうか。何年計画でもよいからプロジェクトを立ち上げてはどうか？但し、同窓会からというわけには行かないので、地球物理学教室でプロジェクトを立てていただく必要がある。（これに関連して副会長から、寄付は組織の強化に必要である。大学からは寄付を集めるといった話は何も出ていない。例えば地震発生メカニズムを明らかにするというような課題で、大阪の上町断層を取り上げるなどの活動を考えてはどうか？皆さん何か考えましようとのコメントがなされた）

最後に、退職される先生方に記念品を贈呈して総会を閉じ、懇親会場に移った。